



夢事業の先生は スサノオマジックの選手

島根スサノオマジックの選手が1月31日、社日小学校を訪れ、3年生以上を対象に「夢授業」を行いました。プロのスポーツ選手との交流を通じて夢に向かって努力する大切さを感じてもらうことを目的に開催されています。

この日、同校を訪れたのは寒竹選手と山本選手。プロを目指した理由や努力したことなど、自分の体験を児童たちに語りました。

6年生の原健人君は「試合は観戦したことがあるけど、近くで見ると大きくてびっくりした。これからは休み時間にはバスケットボールがしたくなった」と話してくれました。

島根スサノオマジックホーム戦
日時 3月19日(日) 13:00試合開始
会場 安来市民体育館
対戦相手 香川ファイブアローズ

錦織監督が尼子神社で ドラマ撮影の無事を祈願

山中鹿介などが登場するドラマの撮影が広瀬町内であり、メガホンを持つ錦織良成監督らスタッフが撮影祈願のため富田城跡にある尼子神社を訪れました。どじょってテレビを運営する山陰ケーブルビジョン開局30周年を記念して制作されるこのドラマのタイトルは「質実剛健」。鹿介役に EXILE TRIBE の小林直己さんが登場します。

錦織監督は「クランクイン初日に鹿介ゆかりの神社に祈願できてよかった。改めて撮影に決意を持ちました」と話しました。



まちの話題や出来事をご紹介します



つばきの里の寒椿展

1月21・22日に宇賀荘交流センターで開催された第14回寒椿展。寒さを忘れさせてくれる美しい花を目当てに多くの人が来場しました。

今月の一枚



▼このドラマは3月以降、どじょってテレビをはじめ全国のケーブルテレビで放送される予定です。中央が錦織監督。



地域の課題は住民で解決、 「幸せ」感じる地域おこしを



◀発表会では宇波・赤屋・十神・赤江・母里交流センターの代表から取り組みの経過が報告されました。

地方創生を考える講演会が2月5日、広瀬中央交流センターで開催され、交流センター関係者や一般市民など約250人が来場しました。1部は、交流センターを核に地域課題を住民で解決していく市の「がんばる地域おこし支援事業」の発表会。このうち今年度、「地域ビジョン」づくりを進めている宇波交流センターは「住民が不安に感じることの共通認識を持つことで解決への足並みがそろい始めた」と報告しました。これに対し助言者である県社会教育課の横田社会教育主事は「住民の不安や危機感が地域課題を考えるきっかけとなる。まずは住民同士の学び合いが大切」とアドバイスしました。

2部は、コミュニティデザイン学を専門とする東北芸術工科大学の山崎亮教授が講演。「イベントは未来を見据えた事業にしなければならない」と強調。その上で「取り組む人の幸福度を目安にしていかなければ事業は続かない」と、自分たちが楽しいと思うことが大切であると話しました。

▶山崎教授の提唱する「町の幸福論」は、小学6年生の国語の教科書にも紹介されています。



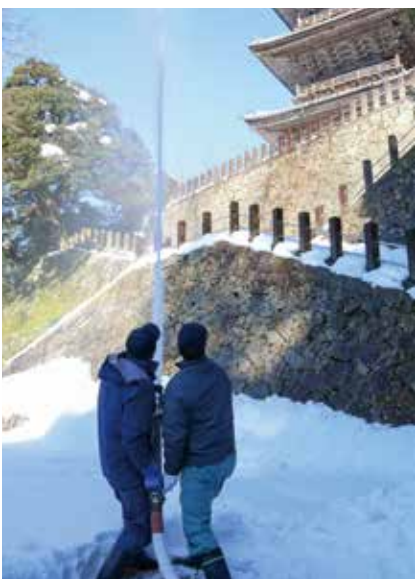
文化財を守る自衛消防団

1月26日の「文化財防火デー」に合わせて消防や文化財関係者が、清水寺や金屋子神社などの消防設備を点検しました。

この内、清水寺ではお寺や旅館などで組織する清水自衛消防団が放水訓練を実施。国や県指定の文化財が数多く存在する寺内では、万が一のときに備え、防火の

取り組みがなされています。

放水訓練後は、消防担当者が「有事の際は協力し合って対応してください」と講評。その後は、建物内外の消火栓や危険箇所がないかなどを点検して回りました。



▶講座ではグループになってビジネスマナーを練習しました。

もうすぐ新社会人 就職予定の高校生が研修

今春就職する高校生を対象にした「島根県就職内定者合同研修」安来会場が2月3日、学習訓練センターで開催されました。職業訓練法人安来地域能力開発振興協会と市が共催したもので、市内2校の高校生66人が参加しました。

研修では、先輩社員の体験談や地元の地域資源などについて受講。このうちビジネスマナー基礎講座では、自己紹介や電話応対、名刺交換などの話を聞いた後、グループに分かれてお互いに実践し合っていました。